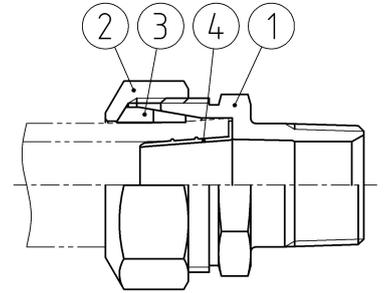


# 水道用ポリエチレン管金属継手 PE 継手 S 型 施工手順書

この手順書は水道用ポリエチレン管金属継手 PE 継手 S 型(以下、継手という)をご使用いただくための施工手順書です。ご使用になられる前によくお読みになり正しくお使いください。

部番	部品名称	材質	備考
1	胴	CAC902又はCAC902C	
2	袋ナット	CAC902又はCAC902C	
3	リング	POM	白色
4	インコア	SUS304又はCAC902(CAC902C)	つば付



※適合管種は水道用ポリエチレン二層管 1 種(以下、管という)

## 施工前の準備



- ・管の接続部には傷の無い所を選んでください。管表面の傷は漏水の原因になります。
- ・管表面に付着した泥等は水洗い、またはウエスで拭き取ってください。

## 継手と他種管及び器具類との接合

- ・他種管及び器具類との接合は、管にねじれが生じないように、接続順序を考慮し施工してください。

## 施工する際は以下の点に注意してください

- ・管にインコアを挿着する時は図1のように切断面と管へ通したリングとの間隔を十分にあげてください。
- ・図2のような位置でインコアを挿着するとリングが変形し、漏水の原因となります。
- ・配管状態により切断面とリングとの間隔が確保できない場合、図2のような状態にならない様、十分に注意して施工してください。

### 良い例: ○

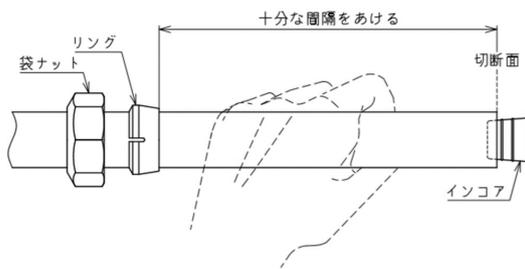


図1

### 悪い例: ×

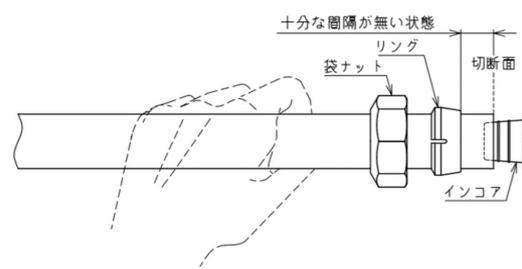
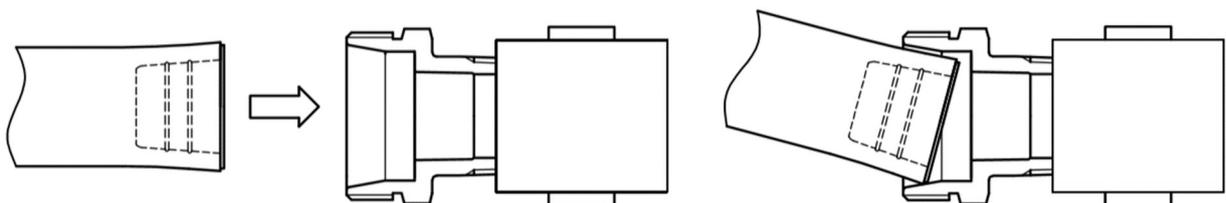


図2

- ・図3のように管を胴に接続する際は胴のテーパ部に異物の混入やインコアの接触などでキズを付けないように注意してください。(胴テーパ部にキズがついた場合は漏水の原因となるため新品へ交換願います。)



※斜め挿入注意

図3

## 施工手順

1. 管は、パイプカッター等を使い、管軸に対して直角に切断してください(図5)。

※管切断面の面取りは不要ですが、切断時にバリが発生した場合はバリを取り除いてください。

2. 袋ナット、リングの順に、図6のような向きで管へ通してください。

※リングの向きに注意してください。

3. 施工する際の注意点で述べた図1に示すように、管の切断面とリングとの間隔は十分にあげてください。

4. 切断面とリングの間を手で持ち(図7)、管にインコアを変形させないようにプラスチックハンマ等で打ち込んでください。

※インコアは根元まで十分に打ち込んでください(図8)。

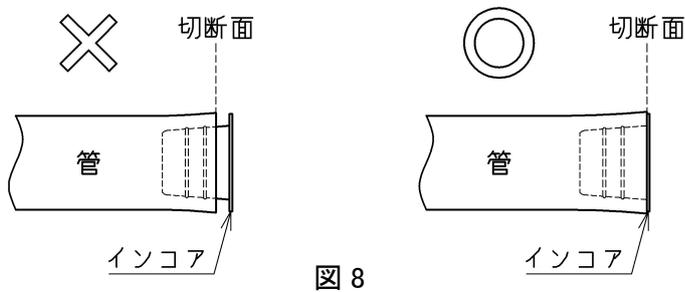


図8

5. インコアを挿着した状態でリングが動くことを確認してください(図9)。

6. インコアを挿着した管を胴の奥まで差し込み(図10)、リング、袋ナットを胴側へ寄せてねじを掛け、袋ナットと胴を表1の標準締付トルクで締め付けてください。

表1. 標準締付トルク

呼び径	標準締付トルク [N・m]	袋ナット締付けの目安(参考)
13	40	胴のねじ山が0~1山残る程度
20	60	胴のねじ山が1~2山残る程度
25	80	
30	110	胴のねじ山が2~3山残る程度
40	130	
50	150	胴のねじ山が1~2山残る程度

\* ナット締め付けの目安は参考です。必ず標準締付トルクまでしっかり締め付けてください。

○お問合せ・ご用命は、最寄りの営業所へ

 前澤給装工業株式会社

本社 〒152-8510 東京都目黒区鷹番2丁目14番4号

http://www.qso.co.jp/

(03)3716-1511(代表)

※本施工手順書は予告なく改訂する場合があります。

W8075(5版) 2021.2

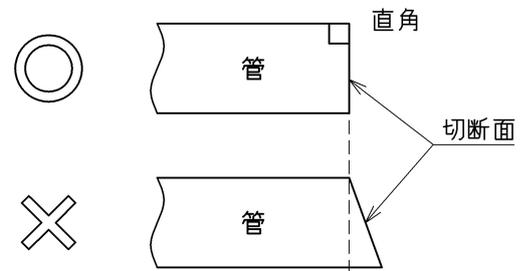


図5

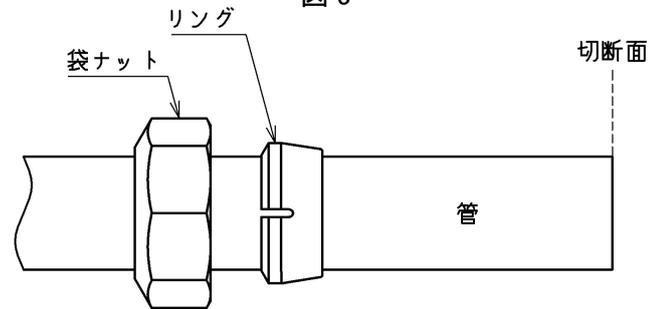


図6

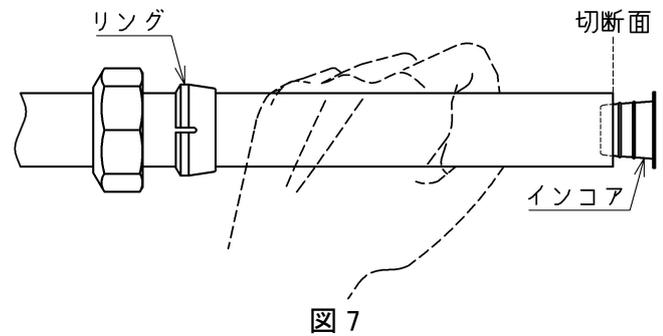
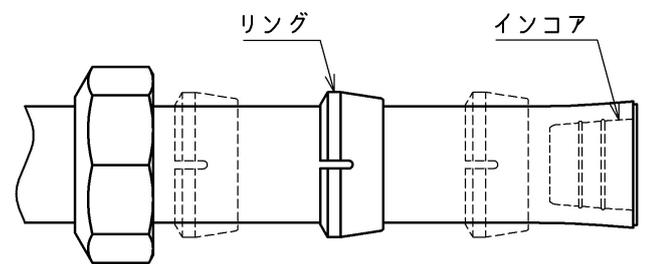


図7



リングが動くこと

図9

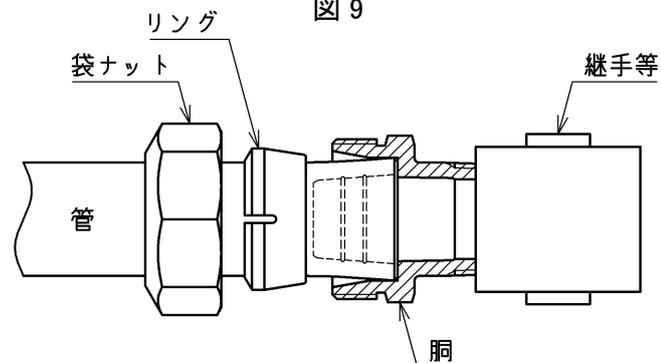


図10